

だっこするよ

2024年8月



社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園
園長 奥戸 昌子

平和を語り、協働の園をつくろう

例年ない異常気象が続いています。まるで地球が沸騰している感じです。また、東北地方では、甚大な大雨災害が起き、被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。地球温暖化の影響で気候変動は、世界中で起きていますね。急なゲリラ豪雨も頻発しています。送迎は、安全を確認してからお越しください。

6月、第三者評価へのご協力有難うございました。社会福祉法第78条に基づき、行う意義は「職員一人一人が自己評価へ主体的に参画することで職員の意識改革と協働性が高められることや評価結果を保護者へ報告することによって協働体制を構築すること等にある」とされています。保育実践の振り返りと運営の透明性が目的です。

今回は、運動会から親子スポーツフェスティバルへと切り替えたことでのご意見を多数いただきました。

子ども達の最善の利益を目指して、行事を保護者に披露するものから親子で愉しむものと切り替え行いましたが、説明会を設けるなどの場をもつべきで説明不足であったことを心よりお詫びいたします。

子どもは、生まれたときから主体的に生きる動物です。一人一人生きる力をもって生まれます。集団生活を通して、互いに真似て、学び、成長していきます。子ども達にとって大切な学びは、「普段の生活と遊び」です。保護者に披露することを目的にすると生活と遊びの時間を練習に当てて取り組まざるを得ないように、「個」より「集団」での整列やダンス練習への成

果を私達は求めてしまいます。行事中心の園は、指示語や命令語が多く、保育者の離職率も高いと聞きます。

小学校に入る前の6年間で必要なことは、何だろうと考えると子ども達のウェルビーイング（幸せな状態）であることを保障していくこと、その子の自尊心、個性を太らせることに尽きます。園が、ウェルビーイングを生み出す場となり、乳幼児期の心と体や関係性が良い状態が保障されることは、生涯に亘る幸せの基盤になると言われています。子どもの声に耳を傾け、子どもがより主体的に参画できるような環境を準備して、保育内容の充実を図ります。職員研修、また、保護者と共に学び合える研修会を9月には開きたいと思います。子どもの育ちについて学んでいきましょう。また、第三者評価を活かす方法として、保護者の皆さんと「子ども理解」「発達とは」「園行事で大事にしたいこと」など、対話の場を設けたいと思います。第三者評価機関の現場での調査は8月に予定しています。もうしばらくお待ちください。

さて、8月15日、今年は79回目の終戦記念日を迎えます。パリではオリンピックが開催されてスポーツの素晴らしさに感動しつつも…その隣ではロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ問題など現在も尊い人命が犠牲になっています。一日も早く平和的な解決を願います。

毎年、園長として祖母として、命の大切さや平和について、子ども達と語り合う時間をもち絵本を読んでいます。

「8月6日のこと」文・中川ひろたか 絵・長谷川義史 この絵本は、作者の実話で、核爆弾ピカドンの威力や戦争の恐ろしさが一瞬で伝わり、子ども達は、「怖いね」「悲しい」という感想を話してくれます。そして、「へいわとせんそう」文・谷川俊太郎 絵・Noritake ブロンズ新社、そして、「子どもに伝える日本国憲法」文・井上ひさし 絵・いわさきちひろ3冊を使っています。井上氏は、「先のむごたらしい悲しい戦争から学び、私たちはこの国のカタチを憲法にまとめた。私たちが穏やかに生きることが他のなによりも大切だ。この国の決まりごとを守り、平和をつくろう」と書かれています。世界平和につながる道は、当事者として感じること、子ども達と共に語り合うことだと思います。大切な時間にしていきます。写真は、星美学園短大の藤原先生にご指導いただいた泥絵の具遊びです